

バンブー(BANPU)

2018/12 期 2Q(4-6 月)は 87.9%の増益、2018 通期は 1.8 億 USD の設備投資を計画

タイ | 石炭事業 | 業績フォロー

BLOOMBERG BANPU:TB | REUTERS BANPU.BK

- 2018/12 期 2Q (4-6 月) は、売上高が前期比 28.4%増の 8.13 億 USD、税引前利益は同 82.6%増の 2.10 億 USD、当期利益が同 87.9%増の 1.24 億 USD であった。
- 石炭の販売量、平均販売価格がともに改善し、主力の石炭・石炭関連事業が好調に推移。売上原価が増加したものの粗利率率が改善。
- 石炭・ガスの上流部門向けに 3,200 万 USD、発電事業向けに 8,000 万 USD、再生可能エネルギー向けに 7,000 万 USD の設備投資を計画。

What is the news?

2018/12 期 2Q (4-6 月) は、売上高が前期比 28.4%増の 8.13 億 USD、税引前利益は同 82.6%増の 2.10 億 USD、当期利益が同 87.9%増の 1.24 億 USD。石炭販売量、石炭平均販売価格がともに改善し、主力の石炭・石炭関連事業が好調に推移。石炭価格上昇によりプラント発電の燃料費用が増加したほか、ブレンド用石炭の取得費用が増加したことで、売上原価が同 26.5%増の 5.21 億 USD と増加。しかし売上の伸びに対しては小幅に留まったため粗利率率は 35.9%と前年同期の 34.9%から 1.0%改善した。

事業セグメント別の概況は以下の通り。主力の石炭・石炭関連事業は、売上高は同 21.3%増の 7.06 億 USD と全体の売上の 87%を占めた。石炭販売量は同 4.7%増の 912 万トン。産地別では、インドネシア産の販売が同 4.0%減の 534 万トンと減少した一方、オーストラリア産は同 20.0%増の 378 万トンと販売を伸ばした。平均販売価格は世界的な燃料炭の価格上昇を受け、1 トンあたり 77.89USD と前期の 66.66USD から 15%上昇した。電力・蒸気供給事業は、売上高が同 13.5%増の 4,200 万 USD。中国の 3 つの CHP プラントでは販売電力量は減少したものの、石炭価格の上昇により平均電力価格や平均蒸気単価が上昇。平均電力単価は 1 キロワットあたり 0.39RMB と前年同期の 0.37RMB から 6%上昇。平均蒸気単価は 1 トンあたり 9.81RMB と 11%上昇。ガス事業は売上高が同 4.4 倍の 3,500 万 USD、その他事業は売上高が同 5.0 倍の 3,000 万 USD。

How do we view his?

同社は 2018/12 期に、石炭・ガスの上流部門向けに 3,200 万 USD、発電事業向けに 8,000 万 USD、再生可能エネルギー向けに 7,000 万 USD の設備投資を行う計画。2025 年までに発電能力を 43 億ワットまで拡大し、その内 20%以上を再生可能エネルギーで賄う計画。また、国内外のソーラーパネルの設置面積を拡大し 3-5 年以内に太陽光発電の発電能力を 3 億ワットまで拡大する。同社の 2018 年の石炭市場の見通しによると、中国は 2020 年の環境目標に向け燃料炭の輸入量削減に取り組むが中国国内の石炭価格高騰を抑える必要があるため、前年比での削減は困難なまよう。他の新興国からの需要も伸びる見通し。2018/12 通期市場予想は、売上高が同 8.6%増の 31.18 億 USD、当期利益が同 32.2%増の 3.08 億 USD。

業績推移

※参考レート 1USD=110.07円、1USD=32.93THB

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
売上高(百万USD)	2,475	2,260	2,870	3,118	3,045
当期利益(百万USD)	-44	47	233	308	360
EPS(USD)	-0.01	0.01	0.05	0.05	0.07
PER (倍)	-	61.34	12.27	12.27	8.76
BPS(USD)	0.51	0.45	0.51	0.53	0.57
PBR (倍)	1.20	1.36	1.20	1.16	1.08
配当(USD)	0.02	0.01	0.02	0.03	0.03
配当利回り (%)	3.26	1.63	3.26	4.89	4.89

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

(※) 業績は米ドル (USD)、株価はタイバーツ (THB) 表記

配当予想(USD)	0.03	(予想はBloomberg)
終値(THB)	20.20	2018/8/20

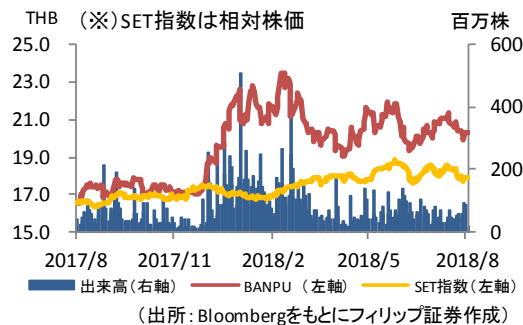
会社概要

1983年に、タイ北部ランブーン県リー郡に位置するバンブー鉱山での石炭採掘を目的に設立。アジアのエネルギーカンパニーのパイオニアで、石炭、発電、インテグレートド・エネルギーの分野で事業を展開する。石炭・石炭関連分野では、国内外で30年を超える事業経験を持ち、採掘から採掘、燃料用石炭や石炭コークスへの精製、石炭火力発電までを手掛けている。露天掘りおよび坑内掘りに専門技術を持つ。電力分野では、タイの発電所開発のパイオニアであり、タイの電力自由化に対応した最初の会社である。バイオエネルギー発電、風力発電、太陽光発電などの再生可能エネルギーの研究・開発も行っており、エネルギー安全保障を強化する「スマート・エナジー・ソリューション」の確立を目指している。

タイ、インドネシア、中国、オーストラリア、ラオス、モンゴル、シンガポール、日本、米国の9カ国に事業拠点を有する。タイでは石炭採掘場の可採鉱量が枯渇したため採掘は行っておらず、石炭の採掘・精製のノウハウの海外展開に注力している。

企業データ (2018/8/21)

ベータ値	1.41
時価総額(百万THB)	104,271
企業価値=EV(百万THB)	240,138
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	1,198.1



主要株主 (2018/8)

1. Stock Exchange of Thailand Co Ltd	9.63
2. ミト・ボン・シュガー	5.59
3. Krungsri Asset Management Co Ltd	2.98

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾
 togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707
 庵原 浩樹
 +81 3 3666 6980
 hiroki.i.hara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。